絆 KIZUNA

地域と学校の架け橋

～きずな～

学校通信 第３３２号 令和２年２月２７日
発　行　北海道阿寒高等学校
〒085-0213　釧路市阿寒町仲町２丁目７番１号
TEL：(0154) 66-3333　FAX　66-3303
ＵＲＬ：http://www.akan.hokkaido-c.ed.jp
「絆」はホームページでもご覧いただけます

『令和元年度　第2回学校関係者評価結果について』

☆総括　全項目平均　「3．45」（第1回3．60）（回答数6）
昨年（3．58）より0．13下降であるが、おおむね十分であると判断できる。

評価基準【 4:十分である、 3:おおむね十分である、 2:やや不十分である、 1:改善を要する 】

学校関係者による学校評価については、教員と同じ目線で学校を評価していただく観点で、年に2回の実施をお願いしています。今年度は第1回評価より0．15ポイント下降しました。項目別では、ほぼ全ての項目で職員自己評価より高い評価をいただき、全項目において3．2以上の評価を得ています。特に高い評価を得た項目は、「2学校経営方針③教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校づくり」3．8、そして、「2学校経営方針①、②、④」、「3学習指導②」、「5進路指導①、②、④」「9丹頂プラン〈目指す学校像〉④〈目指す教師像〉①、②、③」が高い評価を得ています。これらの結果から地域や関係者の方々の理解や信頼のもと、本校の教育活動が実践できているといえます。また、低い項目が「3学習指導④家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める」、「9丹頂プラン〈目指す生徒像〉②、③」は低くなっており、今回の評価を踏まえ、教員一同、現在の取組の成果と課題を十分精査し、次年度にむけて地域連携特例校や研究開発学校としての取り組みやユネスコスクールの実践など、より一層の発展・充実をもとに生徒の基礎学力向上に取り組んでいきたいと思います。

※評価点の高い項目（3．2以上）は◎で示しました。＜　＞内は1回（　）内は職員の値となります。
評議員に関しては、項目7．事務部運営　項目8．遠隔授業はのぞきました。

	平均			評価点
1 学校教育目標（一人一人を大切にし、豊かな心の育成をめざす）				
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	◎3.3	〈3.7〉	(3.2)	◎3.4 〈3.6〉 職員(3.1)
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	◎3.3	〈3.5〉	(3.2)	
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	◎3.3	〈3.5〉	(3.2)	
④ 地域文化と自然を愛する心	◎3.5	〈3.8〉	(2.9)	
2 学校経営方針				
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	◎3.7	〈3.7〉	(3.1)	◎3.7 〈3.7〉 職員(3.2)
② 信頼される学校を目指し、家庭や地域、関係機関等との密なる連携	◎3.7	〈3.8〉	(3.3)	
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校づくり	◎3.8	〈3.7〉	(3.4)	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	◎3.7	〈3.7〉	(2.8)	
⑤ 学校経営に参画する視点から、服務規律の遵守や業務の適正化を適切に行う教職員集団の構築	◎3.5	〈3.5〉	(3.3)	
3 学習指導				
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	◎3.5	〈3.8〉	(2.8)	◎3.4 〈3.6〉 職員(3.1)
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	◎3.7	〈3.7〉	(3.4)	
③ 学習意欲を引き出すためのシラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	◎3.3	〈3.7〉	(3.2)	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	3.0	〈3.2〉	(2.9)	
4 生徒指導				
① 心のふれあいを重視し、人間関係を基調とする指導に努める	◎3.5	〈3.7〉	(3.5)	◎3.5 〈3.6〉 職員(3.4)
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	◎3.5	〈3.7〉	(3.6)	
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	◎3.3	〈3.7〉	(3.0)	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	◎3.5	〈3.3〉	(3.4)	
5 進路指導				
① 各種行事をとおして望ましい勤労観・職業観の育成に努める	◎3.7	〈3.8〉	(3.5)	◎3.6 〈3.7〉 職員(3.2)
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	◎3.7	〈3.7〉	(3.2)	
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	◎3.3	〈3.5〉	(3.1)	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	◎3.7	〈3.7〉	(3.0)	
6 健康安全指導				
① 健康相談等をとおして自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	◎3.3	〈3.5〉	(2.7)	◎3.5 〈3.6〉 職員(3.1)
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	◎3.3	〈3.7〉	(3.2)	
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努める	◎3.5	〈3.5〉	(3.2)	
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	◎3.7	〈3.7〉	(3.2)	
9 丹頂プラン（の推進・実現状況）				
＜目指す学校像＞				◎3.5 〈3.6〉 職員(3.5)
① 学ぶ喜びのある　学校（社会に適用する力）	◎3.3	〈3.5〉	(3.4)	
② 仲間と成長できる　学校（コミュニケーション力）	◎3.3	〈3.3〉	(3.6)	
③ 安心した生活ができる　学校（落ち着いた学習環境）	◎3.5	〈3.7〉	(3.3)	
④ 地域から信頼される　学校（地域と共に発展）	◎3.7	〈4.0〉	(3.5)	
＜目指す生徒像＞				
① 当たり前の実践ができる　生徒（挨拶やマナー）	◎3.3	〈3.5〉	(3.3)	◎3.2 〈3.4〉 職員(3.1)
② 社会に適用する力を持つ　生徒（基礎基本の学力）	3.0	〈3.3〉	(2.7)	
③ 自立精神と積極性を持つ　生徒（進路実現）	3.0	〈3.3〉	(3.0)	
④ 地域への貢献ができる　生徒（地域の文化や自然）	◎3.5	〈3.5〉	(3.3)	
＜目指す教師像＞				
① 生徒を愛し共に伸びる　教師（愛　情）	◎3.7	〈3.8〉	(3.2)	◎3.7 〈3.7〉 職員(3.1)
② 目標達成に向け邁進する　教師（実　践）	◎3.7	〈3.7〉	(3.1)	
③ 保護者や地域から愛される　教師（信　頼）	◎3.7	〈3.7〉	(3.1)	

社会人のための身だしなみ講座

1月31日（金）、4月から新社会人や大学生となる3年生16名を対象に、社会人のための身だしなみ講座を行いました。女子（8名）は講師（MENARD）から、業種や場面に応じたビジネスメイクを、男子（８名）は講師（AOKI）からビジネスマナーやスーツの着こなしを学びました。単に知識としてではなく、「なぜこうするのか」ということを実演も踏まえてわかりやすく説明していただきました。高校とは違う身だしなみを意識してもらえたと思います。

幼稚園交流

2月4日（火）、阿寒幼稚園にて第2回幼稚園交流が行われました。当日の朝は大変冷えこんだのですが、幼稚園児と遊んでいるうちに寒さも吹き飛んでしまいました。園庭での体操、YMCA の曲に合わせてのランニング、雪中ホッケー、そり遊びなど、2時間ほど遊んだ後に昼食を一緒に食べました。昼食後は鬼ごっこをしたり、キャッチボールをしたりと交流時間を満喫しました。寒い1日でしたが、高校生も幼稚園児も心温まる一時を過ごし、別れを惜しみながらも来年の再会を約束しました。

生徒会ユネスコ研究大会に参加

阿寒高校はユネスコスクールとしてESD（持続可能な開発のための教育）に取り組み、北海道高等学校ユネスコ研究大会に毎年参加しています。本年度は、1月25日（土）に札幌で行われた大会に、2学年の武田礼君と1学年の林直樹君の2名が参加しました。異文化理解の意義について他校の生徒や日本在住の外国人と意見交換し、さらに国際交流事業でカンボジアを訪ねてきた高校生の体験を聞きました。最後には、「私たちが世界を知るために学ぶべきことは何か」を議論し合い、有意義な一日を過ごしました。

スキー授業終了報告

2月6日（木）を持ちまして、阿寒ロイヤルバレイスキー場で実施しておりました今年度のスキー授業が無事終了しました。

生徒は自己の技能向上に高い意欲を持って授業に臨むとともに、山から見える景色や滑走した跡の残る雪面などの自然の様子に趣を感じたようでした。

今年度も地域連携特例校である釧路湖陵高校教諭やインストラクター、スキー場の方々のご協力をいただきまして、充実した教育活動となりました。この場を借りてお礼申し上げます。

３月行事予定

1日　卒業式
2日　振替休日
4日　一般入学者選抜試験　生徒休業日
（～6日まで）
24日　修了式　離任式
25日　春休み（4月7日まで）
26日　PTA 役員送別会